

# 畑からのご挨拶

## 本日の野菜&果物

小松菜	戸塚	岡本さん	ブロッコリー	三浦	長嶋さん
長ネギ	鎌倉	大平さん	リーフレタス	三浦	長嶋さん
さつま芋(金とき芋)	愛媛	赤坂さん	舞茸	新潟	中山さん
ポンカン	愛媛	原田さん			

本日の野菜・果物は栽培中農薬・化学肥料は使用していません

正月気分は冷めた・まだ残っているか、微妙な気分な今日この頃、手も震える厳しい寒さと乾燥した日々の中、みなさ〜ん、お変わりありませんか〜？体調管理には十分ご注意ください。

新年早々日本中が大寒波に襲われていますが、ここいら辺りは寒さは厳しいですが、雪は降らず畑は助かっています。冬でもここいら辺りより暖かい…と思っていた福岡でもここ数年は毎年雪が降り、水道管が凍る…という出来事が起こっており、いちご農家の緒方さんも悲鳴を上げています。しかし皆の衆、ここいら辺りは寒いとはいえ大雪の被害にも合わず、本当に恵まれている…と感じませんか？

首都圏で 10 cm も雪が積もれば大パニックになり、にっちもさっちもいかなくなります、一日の積雪が数十センチ以上という地域も多く、日本に限らず世界中で気候変動が定着しつつあることを実感する日々です。気候変動による気象災害は日常生活に大きな影響を与え始めましたが、この日常生活の変動も定番化しつつ、十数年先、いや数年先には私たちの生活習慣、特に食生活が大きく変わるのでは…と、大きな不安が…

食べ物の基本は農作物です。農作物が無ければ食べ物はできません。農作物は気象条件に大きく左右されます。安定した気候の中、農作物は順調に育ち、収穫され、私たちの食糧となります。But エブリバディー、その大前提である安定した気候が変動し、不安定な気候が定着しつつあります。ここ数年その影響が農作物に顕著に表れています。

直近の例では昨年の 11 月頃より葉物野菜やキャベツ・ブロッコリーなどの収量が激減し、よこいでも野菜の手配に四苦八苦しています。今まではあって当たり前で「無い」ということは考えにくかったのですが…野菜の価格は栽培方法で決まることはごく僅かで、需要と供給のバランスで決まるものです。その供給量が減れば数量は減り、価格は上がります。価格が高いと買わない…物が売れないと作り手も作らない。また一生懸命作っても気象災害にあう。こんな循環を繰り返すと農業を続ける人がいなくなる…そんなことが起こったら…オーマイ神様！

1/22 お届け予定

ほうれん草・雪下人参・キャベツ  
大根・干し柿

1/29 お届け予定

小松菜・ブロッコリー・ブナシメジ  
レタス・ミニトマト・柑橘類